



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 日本ナレッジ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5252 URL <http://www.know-net.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 洋一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼人材本部長 (氏名) 青木 一男 TEL 03-3845-4781  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,057	17.0	191	1.4	203	5.1	146	16.7
2023年3月期第3四半期	2,613	—	188	—	193	—	125	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	106.17	—
2023年3月期第3四半期	105.51	—

(注) 2022年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,872	1,026	54.8
2023年3月期	1,803	898	49.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,026百万円 2023年3月期 898百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	12.7	240	18.0	240	25.4	150	9.3	109.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	1,376,000株	2023年3月期	1,376,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,376,000株	2023年3月期3Q	1,186,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、非製造業を中心に人手不足が生じ所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調となりました。一方で、海外情勢不安は拡大し、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社がサービスを提供するソフトウェア関連市場においては、産業界全体にDX（デジタルトランスフォーメーション）による経営効率化という概念が浸透し、引き続き企業のIT投資意欲が拡大傾向にあることに加え、AIなど先端のIT技術を活用した新たな市場も立ち上がりつつあります。

こうした事業環境の中、当社においては、他社と差別化するための独自性のあるサービス提供に向けた積極的な取り組みや、新たな市場の開拓にも注力し、企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高3,057,640千円（前年同期比17.0%増）、営業利益191,378千円（同1.4%増）、経常利益203,324千円（同5.1%増）、四半期純利益146,086千円（同16.7%増）となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次のとおりであります。

#### ① 検証事業

当社の検証事業では、ソフトウェア開発の各工程において、テストの設計及び実行から改善提案に至るまで、ソフトウェア品質向上のためのサービスを提供しております。また、顧客企業へのテスト自動化ツールの導入、自動化に適した開発プロセスの改善、テストプロセスの効率化・生産性の向上を実現する『テスト自動化支援サービス』にも取り組んでまいりました。このように、同業他社と差別化を図るために継続してテストの自動化を推進したことで、顧客のテスト自動化を受託し、実績をあげることができました。

当第3四半期累計期間におきましては、『テスト自動化支援サービス』に加え、ソフトウェア開発でのプロダクトセキュリティの開発プロセス構築支援や、アメリカ国立標準技術研究所が定めたセキュリティ基準を示すガイドラインの「NIST SP800-171」の監査支援、最新のISMS 2022年版の更新審査に向けた支援などのコンサルテーションサービスも行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,035,621千円（前年同期比33.9%増）、セグメント利益342,954千円（同19.5%増）となりました。

#### ② 開発事業

当社の開発事業では、自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発、セキュリティ関連製品の販売が主な事業内容となっております。

自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発においては、従前より株式会社大塚商会のERP「SMILEシリーズ」の開発及びカスタマイズを中心に行っております。特に鋼材業・木材業向けといたしまして、「SMILEシリーズ」で機能する業種テンプレートを自社開発し、これらの販売・サポートについても、パートナー企業との連携強化に注力し展開してまいりました。インボイス特需のため着手できなかった案件対応が増加し、前年同期を上回り推移いたしました。

諏訪センターにおいては、複数の大手ベンダー製のERPパッケージ製品の受託開発を手掛けることで、幅広い製品をラインナップすることにより受注の安定につながっております。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,022,018千円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益は273,277千円（同12.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ68,360千円増加し、1,872,033千円となりました。

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ79,759千円減少し、1,407,177千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少142,104千円、売掛金及び契約資産の増加70,350千円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ148,120千円増加し、464,855千円となりました。この主な要因は、建設仮勘定の増加125,176千円、土地の増加34,087千円、及び繰延税金資産の減少13,009千円であります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ59,348千円減少し、845,601千円となりました。

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ15,828千円増加し、765,491千円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加100,000千円、預り金の増加21,672千円、及び未払法人税等の減少47,405千円、

賞与引当金の減少32,272千円、未払消費税等の減少18,699千円、契約負債の減少3,946千円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ75,176千円減少し、80,110千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少63,218千円、及び社債の減少10,000千円であります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ127,708千円増加し、1,026,431千円となりました。これは主に利益剰余金の増加125,446千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	922,371	780,266
売掛金及び契約資産	519,539	589,889
仕掛品	21,288	3,809
前渡金	8,379	8,441
前払費用	12,060	23,084
その他	3,325	1,720
貸倒引当金	△27	△34
流動資産合計	1,486,937	1,407,177
固定資産		
有形固定資産		
建物	58,438	65,141
減価償却累計額	△24,944	△27,837
建物(純額)	33,494	37,304
車両運搬具	1,204	1,204
減価償却累計額	△134	△435
車両運搬具(純額)	1,069	768
工具、器具及び備品	54,369	62,961
減価償却累計額	△40,325	△46,063
工具、器具及び備品(純額)	14,044	16,897
土地	75,034	109,121
リース資産	31,655	31,655
減価償却累計額	△18,861	△22,688
リース資産(純額)	12,794	8,966
建設仮勘定	—	125,176
有形固定資産合計	136,437	298,234
無形固定資産		
借地権	8,190	8,190
ソフトウェア	868	467
その他	199	191
無形固定資産合計	9,257	8,848
投資その他の資産		
投資有価証券	13,152	19,383
出資金	16,450	16,450
長期前払費用	113	3,013
繰延税金資産	47,638	34,628
その他	93,810	84,421
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	171,040	157,772
固定資産合計	316,735	464,855
資産合計	1,803,672	1,872,033

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	236,535	237,360
短期借入金	50,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	23,834	20,004
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
リース債務	5,674	5,678
未払金	26,785	8,648
未払費用	67,625	85,241
未払消費税等	58,696	39,997
未払法人税等	66,710	19,305
契約負債	72,591	68,644
賞与引当金	108,217	75,945
預り金	12,992	34,664
流動負債合計	749,662	765,491
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	96,546	33,328
リース債務	9,152	4,880
資産除去債務	17,982	21,001
その他	1,606	899
固定負債合計	155,286	80,110
負債合計	904,949	845,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,100	217,100
資本剰余金	158,340	158,340
利益剰余金	523,521	648,968
株主資本合計	898,961	1,024,408
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△239	2,022
評価・換算差額等合計	△239	2,022
純資産合計	898,722	1,026,431
負債純資産合計	1,803,672	1,872,033

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	2,613,774	3,057,640
売上原価	2,083,324	2,441,408
売上総利益	530,450	616,231
販売費及び一般管理費	341,636	424,852
営業利益	188,813	191,378
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	493	602
助成金収入	5,518	5,124
受取家賃収入	1,522	989
太陽光売電収入	412	411
保険解約返戻金	—	5,067
その他	1,163	1,684
営業外収益合計	9,117	13,885
営業外費用		
支払利息	772	612
社債利息	87	48
株式交付費	2,966	—
支払保証料	470	295
保険解約損	—	877
その他	264	106
営業外費用合計	4,561	1,939
経常利益	193,369	203,324
税引前四半期純利益	193,369	203,324
法人税、住民税及び事業税	57,485	45,226
法人税等調整額	10,752	12,011
法人税等合計	68,237	57,238
四半期純利益	125,132	146,086



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,520,141	1,093,633	2,613,774	—	2,613,774
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,854	△49,854	—	—	—
計	1,569,995	1,043,779	2,613,774	—	2,613,774
セグメント利益	287,100	243,350	530,450	△341,636	188,813

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△341,636千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用341,636千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,035,621	1,022,018	3,057,640	—	3,057,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	△43,985	43,985	—	—	—
計	1,991,635	1,066,004	3,057,640	—	3,057,640
セグメント利益	342,954	273,277	616,231	△424,852	191,378

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△424,852千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用424,852千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。